

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和1年6月6日(2019.6.6)

【公表番号】特表2018-515652(P2018-515652A)

【公表日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2018-022

【出願番号】特願2017-556854(P2017-556854)

【国際特許分類】

C 08 L	23/00	(2006.01)
C 08 L	23/06	(2006.01)
C 08 L	75/08	(2006.01)
C 08 L	53/02	(2006.01)
A 43 B	13/04	(2006.01)

【F I】

C 08 L	23/00	
C 08 L	23/06	
C 08 L	75/08	
C 08 L	53/02	
A 43 B	13/04	A

【手続補正書】

【提出日】平成31年4月24日(2019.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱可塑性ポリウレタン(A)の質量部とポリオレフィン(B)の質量部の合計を100質量部としたときに、

(A) 60~85質量部の熱可塑性ポリウレタンと、

(B) 15~40質量部のポリオレフィンと、

を含有し、更に、熱可塑性ポリウレタン(A)とポリオレフィン(B)の合計100質量部に対し、

(C) 1~15質量部の、ビニル芳香族モノマーと共にジエンモノマーから得られる水添ブロックコポリマーを含み、

前記水添ブロックコポリマー(C)はアミン変性水添ブロックコポリマーであり、且つ前記ポリオレフィン(B)はポリエチレンである、ポリマー組成物。

【請求項2】

熱可塑性ポリウレタン(A)の質量部とポリオレフィン(B)の質量部の合計を100質量部としたときに、

(A) 65~75質量部の熱可塑性ポリウレタンと、

(B) 20~35質量部のポリオレフィンと、

を含み、更に、熱可塑性ポリウレタン(A)とポリオレフィン(B)の合計を100質量部に対し、

(C) 5~10質量部の水添ブロックコポリマーを含む請求項1に記載のポリマー組成物。

【請求項3】

水添ブロックコポリマー(C)は、ブタジエンモノマー由来のブタジエンモノマーエニットを共役ジエンモノマーとして含み、スチレンモノマー由来のスチレンモノマーエニットをビニル芳香族モノマーとして含み、かつ、少なくとも1つのブタジエンモノマーエニットが水素化された請求項1又は2に記載のポリマー組成物。

【請求項4】

水添ブロックコポリマー(C)は、共役ジエンモノマー由来の二重結合の水素化率が97%以上である請求項1～3のいずれか1項に記載のポリマー組成物。

【請求項5】

水添ブロックコポリマー(C)は官能基としてアミノ基を有する請求項1～4のいずれか1項に記載のポリマー組成物。

【請求項6】

熱可塑性ポリウレタン(A)は、ジイソシアネートとポリエーテルポリオールから得られたものである請求項1～5のいずれか1項に記載のポリマー組成物。

【請求項7】

ポリエーテルポリオールがポリテトラヒドロフランを含む請求項6に記載のポリマー組成物。

【請求項8】

熱可塑性ポリウレタン(A)は、DIN53505に従って測定される硬度が70ショアA～65ショアDである請求項1～7のいずれか1項に記載のポリマー組成物。

【請求項9】

ポリオレフィン(B)が低密度ポリエチレンである請求項1～8のいずれか1項に記載のポリマー組成物。

【請求項10】

ポリオレフィン(B)のMFRが13g/10分以下の範囲にある請求項1～9のいずれか1項に記載のポリマー組成物。

【請求項11】

請求項1～10のいずれか1項に記載のポリマー組成物に基づく射出又は押出し成形品。

【請求項12】

成形品中の熱可塑性ポリウレタン(A)中に、ポリオレフィン(B)の相が分散している請求項11に記載の成形品。

【請求項13】

成形品が靴の表底である請求項11又は12に記載の成形品。